

No.U-0636 C. ダブルステンレスランチジャー2000(ブラック)
 No.U-0637 C. ダブルステンレスランチジャー2000(ネイビー)

取扱説明書(表面+中面)

- ★両面1色印刷 (BK)
- ★3つに折り畳んで製品に添付する。

表面

⚠ ご注意とお願い

- 臭いの強い物や色素の濃いおかず類はアルミホイル等に包んで入れてください。(直接入れますと臭いが付いたり、色素が染み込んで変色する原因になります。)
- 直射日光の当たる場所や、高温になる車などの中に入れておくと、腐敗の原因になります。又、外気温が低いところに置かれますと保温効果が低下します。
- 長時間使用しない時は、汚れ等をきれいに洗い落とし早めに水気を拭き取り乾燥させてから保管してください。

お手入れ方法

※使用後は、臭いや汚れ等の付着を防ぐためにも、早めにお手入れを行ってください。

内容器 はし・はし箱	・食器用洗剤をスポンジ等に付けて洗い、水ですすいでよく乾燥させてください。
パッキン・弁	・パッキン・弁は取り外して食器用洗剤をスポンジ等に付けて洗い、よく乾燥させてから正しく取り付けてください。誤って取り付けられますと、スープ等が漏れる原因になります。 【→パッキンの取り付け方】
内びん(本体内部)	・食器用洗剤をスポンジ等に付けて洗い、水ですすいでよく乾燥させてください。 ・つけ置き洗いや食器洗い乾燥機には使用しないでください。
胴部(本体外側)	・お湯で薄めた食器用洗剤をやわらかい布に含ませ固く絞って拭き、やわらかい布でから拭きしてよく乾燥させてください。

⚠ お手入れについて

- 本体・ご飯容器ふたは、つけ置き洗いや丸洗いはしないでください。(水が浸入し錆が発生したり、他の物を汚したりします。)
- 煮沸したり、食器洗い乾燥機等には使用しないでください。錆や変形等の原因になります。
- 金属たわし、磨き粉等は使用しないでください。(キズや錆の原因になります。)
- 内びんは、塩素系漂白剤を使用しないでください。(錆の原因になります。)

■内容器・パッキン・弁は消耗品です。消耗している場合は、品番・品名をお確かめの上、店舗へお問い合わせください。

■製品サイズ(約)：幅150×奥行140×高さ240mm

品名/ステンレス製まほうびん(弁当用ジャー)
 実容量/ご飯容器：0.73リットル
 スープ容器：0.38リットル
 おかず容器：0.38リットル
 保温効力/65度以上(6時間)
 材料の種類/内びん(本体内部)：ステンレス鋼
 胴部(本体外側)：ステンレス鋼(アクリル樹脂塗装)
 口金：ポリプロピレン(耐熱温度140度)
 ふた：ポリプロピレン(耐熱温度140度)
 ご飯容器(本体)：ポリプロピレン(耐熱温度140度)
 (ふた)：ポリプロピレン(断熱材：発泡スチロール)(耐熱温度80度)
 スープ容器(本体・ふた)：ポリプロピレン(耐熱温度140度)
 おかず容器(本体)：ポリプロピレン(耐熱温度140度)
 (ふた)：ポリエチレン(耐熱温度70度)
 はし：ポリチレンテレフタレート(耐熱温度120度)
 はし箱：ABS樹脂(耐熱温度70度)
 パッキン：シリコンゴム(耐熱温度180度)

- 使用上の注意
- 火のそばに置かないでください。
 - ふたは確実に閉めてください。
 - 横転させて中身が流れないように注意してください。
 - 幼児のいたずらに注意してください。
 - 本体のつけ置き洗いや丸洗いはしないでください。
 - たわし、磨き粉等で磨くとキズがつきます。

■保温効力とは、室温20度±2度において、内びんに熱湯をご飯容器のふたの最下端まで満たし、湯温が95±1度になった時おかず容器をのせふたをして、縦置きにした状態で6時間放置した場合におけるその湯の温度です。(ご使用の際はご飯の温度や外気温の影響により、上記の保温効力の数値とは異なります。)

※本製品は、一般家庭用です。業務用として使用しないでください。

この度は当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 製品に関して万全を期していますが、万一不具合があった場合には、お問い合わせ先までご連絡ください。お問い合わせの際は、品番・品名などの確認をお願い致します。



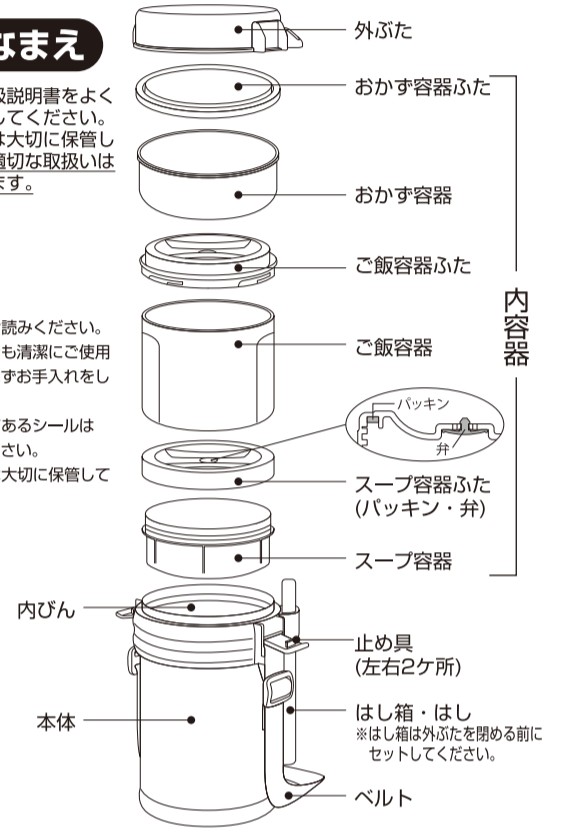
取扱説明書

ステンレスランチジャー
2000

各部のなまえ

使用の際は、取扱説明書をよく読んでから使用してください。又、取扱説明書は大切に保管してください。不適切な取扱いは事故につながります。

- 使用前には必ずお読みください。
- 使用後はいつでも清潔にご使用いただくために必ずお手入れをしてください。
- 本体底面に貼ってあるシールははがさないでください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。



中面

ご使用方法

※ご使用前に、内容器・はし・はし箱を十分に洗い、パッキン・弁が正しくセットされていることを確認してください。

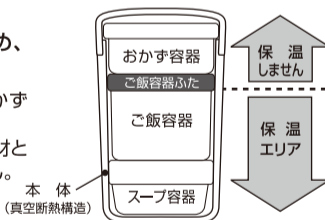
- 1.内容器を取り出す。
止め具をはし、外ふたを開けます。
- 2.予熱(予冷)をする。
保温(保冷)効果を高めるため、下記の手順を行ってください。
①内びんに熱湯(冷水)を入れ、1~2分予熱(予冷)を行います。
②お湯(水)を捨て、水分を拭き取ってください。
- 3.内容器に食品を入れる。
●スープ容器に熱いスープや味噌汁を入れます。
※容器の8分目までにしてください。
※汁気の多いおかず(おでん・シチュー等)は、スープ容器に入れてください。
※熱いスープ類が必要な場合でも、保温効果を高めるため熱湯を入れてください。
※スープ容器ふたは確実に閉めてください。
●ご飯容器に炊きたての熱いご飯を入れます。
※ご飯容器ふたはカチッと音がするまで確実に閉めてください。
●おかず容器におかずを入れます。
※おかずはよく冷ましてから入れてください。



冷えた食品を入れる場合下記の点にご注意ください。
 ●内びんに冷水を入れて予冷をしてください。
 ●スープ容器、ご飯容器、おかず容器に十分に冷やした食品を入れてください。
 ※本品に冷蔵効果はありません。外気温や、時間の経過とともに、内容物の温度が上がります。食品を氷水で冷やしたり、一晩冷蔵庫に入れておく等、できるだけ冷やしてから入れてください。
 ●生肉・生魚・乳製品等は腐敗の原因になりますので、入れないでください。

4.本体に内容器を入れ外ふたを閉め、止め具をはめる。

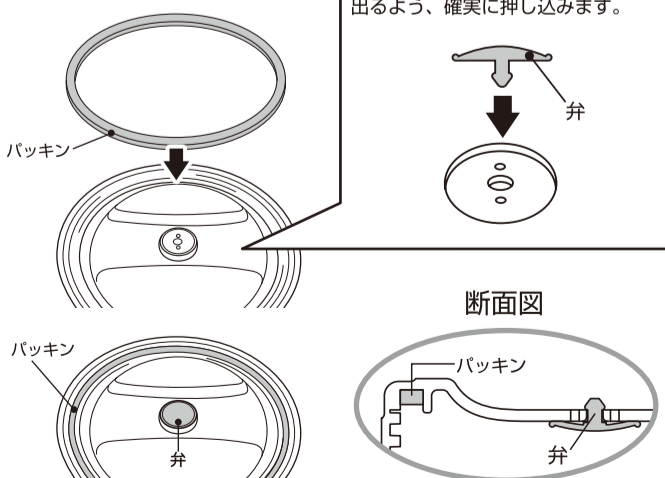
本体にスープ容器→ご飯容器→おかず容器の順に入れ、外ふたを閉めます。
 ※本体内では、ご飯容器ふたが断熱材となり、おかず容器は保温されません。



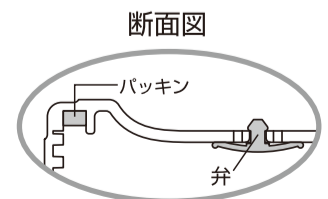
パッキンの取り付け方法

■スープ容器のパッキン・弁の取り付け方

パッキンの取り付け方
 溝に確実にめ込み、全体にまんべんなく押し込みます。



弁の取り付け方
 弁の突起部がスープ容器ふたの表側に出来るよう、確実に押し込みます。



⚠ 必ずお守りください

- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。又、いたずらには十分ご注意ください。
- 本体は落としたり、ぶつける等の衝撃を加えると保温不良の原因になります。
- 完全密閉ではありません。製品の横置きはしないでください。(内容物が漏れる原因があります。)
- 食品の保温(保冷)以外には使用しないでください。
- 火のそばに置かないでください。
- 外ふたを持って運ばないでください。(止め具がはずれて落下し、けがや破損の原因になります。)
- ベルトを持って振り回さないでください。(破損や故障の原因になります。)
- 分解したり改造・修理したりしないでください。(事故や故障の原因になります。)
- 長時間保存されますと、腐敗の原因になります。できるだけ早く(6時間以内)一度に食べきってください。
- 変質、腐敗しやすい食品(生もの・乳製品等)は保温しないでください。
- 内びんに直接、食品を入れないでください。(漏れて火傷や、他のものを汚す原因になります。)
- おかず容器・ご飯容器にスープ類や汁気の多い食品を入れないでください。(内容物が漏れ他のものを汚す原因になります。)
- おかず容器は、おかずをよく冷ましてからふたをしてください。(腐敗の原因になります。)
- ご飯容器におかずを入れないでください。(腐敗の原因になります)
- 各容器のふたは確実に閉めてください。(漏れて火傷や他のものを汚す原因になります。)
- スープ容器ふたのパッキン・弁は正しく確実に取り付けてください。(漏れて火傷や他のものを汚す原因になります。)
- 電子レンジで内容物を加熱する際は、下記の点に注意してください。(変形や故障の原因になります)
 ●本体は電子レンジで使用できません。(スパークする原因になります)
 ●各容器のふたを取り外してください。
 ●オープン・グリル機能では使用できません。又、他の料理で使用した後で使用する際は、庫内が冷めてから使用してください。
 ●内容器が空の状態加熱しないでください。
 ●油分・糖分の多い食品を長時間加熱しないでください。